



令和3年度公益社団法人徳島県看護協会

通常総会祝辞

一般社団法人徳島県医師会 会長

齋藤義郎

初夏を迎え、木々の緑も日増しに深くなってまいりました今日、令和3年度公益社団法人徳島県看護協会通常総会が開催されますことを心からお祝いを申し上げます。

日頃は、徳島県医師会に対し格別なるご支援、ご協力を賜っておりますことに、また、昨年よりの新型コロナウイルス感染症対策において「地域外来・検査センター」「宿泊療養」「在宅療養」等に多大なるご尽力をいただき共に戦っていることに改めて感謝申し上げます。

稲井会長自ら率先して出務してくださり、瞬時の決断力、判断力、チームワークのよさには心から敬意を表しています。看護協会のご協力がなければどの運営も非常に厳しいものでした。

第4波が押し寄せ、変異株が猛威をふるい感染力の強さには驚きながら素手で戦ってまいりましたが、今は少し落ち着いてきたところではあります。

しかしまだまだ油断ができない状況ですが、今のうちに新型コロナウイルスワクチン予防接種を県民全員に行うことが、私たち医療人に課せられた任務と思っています。

高齢者の個別ワクチン接種も始まり、7月末までに高齢者への接種が終わるようにと私たちに求められています。

首相を始めとした政府のワクチン政策の失敗の後始末を依頼され腹立たしい気持ちもありますが、今後は大規模接種会場での集団接種に向け、ますます徳島県・市町村と看護協会をはじめ関係団体が一致団結し、一人でも多くの県民のみなさまにワクチン接種を受けていただき、一日でも早く安全安心な日常が戻るができるように祈念しています。

看護協会の皆様におかれましては、日々お力添えをいただき疲労困憊のことと存じます。まだまだ終わりの見えないウイルスとの長い戦いになりますが、今一度奮起していただき今後ともワンチームで共に戦いましょう。

最後になりましたが、貴会並びに貴会 会員の皆様の一層のご健勝、ご活躍を祈念申し上げます、お祝いの挨拶といたします。

本日は誠にありがとうございます。